

「二次基準太陽電池セルの校正結果について」のお願い

太陽電池セルの校正技術の向上及び国際規格の改定などに伴い、過去に実施した二次基準太陽電池セルの校正値に関して、下記のとおり重要な事項をお知らせいたします。また、過去に発行いたしました校正報告書をご使用される際には、下記の点を十分にご留意いただいた上でご使用いただくようよろしくお願い申し上げます。

記

(1) 二次基準太陽電池セルの校正時の多重反射補正について

2009年9月から開始されたAISTの二次基準太陽電池セルの校正において、使用されている一次基準セルの校正値は、一次基準太陽電池セルと校正用ソーラーシミュレータとの間で生じる多重反射が補正されております。

(2) JETでの二次基準太陽電池の校正値について

JETで行った二次基準太陽電池の校正において、参照した一次基準太陽電池の校正値は、この多重反射が補正されていません。また、JETの代表セル方式では、代表セルと二次基準太陽電池セルとの多重反射の違いを補正していません。したがって、これらの校正値を利用する場合にはご注意ください。詳しくは、下記のURLに掲載されている情報をご参照ください。

(3) 基準太陽スペクトルの値の変更について

JETで過去に行った二次基準太陽電池セルの校正においては、規格としてJISC8911(1998年版)「二次基準結晶系太陽電池セル」及びJISC8931(2000年確認)「二次基準アモルファス系太陽電池セル」を使用しておりました。これら2つのJIS規格に共通する表1「基準太陽光の分光放射照度分布」は、IEC60904-3(初版)と整合が取れておりましたが、2008年にIEC60904-3(第2版)が発行され、基準太陽光の分光放射照度分布が修正されました。また、AISTにおいては、修正後の基準太陽光の分光放射照度分布を使用しておりますので、校正値が少し変わることになります。下記のURLに掲載されている情報をご参照ください。

ホームページ：

<http://unit.aist.go.jp/rcpv/ci/service/calibration/CalibrationService-Reference.pdf>

以上